

## 令和5年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・学習したことを宿題やタブレットで反復練習させたことで、計算の定着が図れた。
- ・児童同士でノートを見る活動を取り入れ、考えを深めたり広げたりすることができた。
- ・デジタル教科書を使い、実際に操作しながら提示したことで、児童の考えを深める手助けになった。

#### (2) 課題

- ・ノートを見合うことはできたが、感染症対策のため活動に制限があり、児童同士での対話が十分に行えなかった。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）△目標値を上回っているポイント ▼目標値を下回っているポイント

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	知識・技能 △ 思考・判断 ▼ 主体的な態度△		
第5学年	知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度▼	(第4学年時) 知識・技能 △ 思考・判断 △ 主体的な態度△	
第6学年	知識・技能 ≍ 思考・判断 ≍ 主体的な態度△	(第5学年時) 知識・技能 ▼ 思考・判断 △ 主体的な態度▼	(第4学年時) 知識・技能 △ 思考・判断 △ 主体的な態度△

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2けた×2けた=4けたの計算ができていない。</li> <li>・ 分数の相対的な大きさの理解が十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章問題を読み、場面を捉えて、□を用いて式に表すということが、十分にできていない。</li> <li>・ 重さや長さの単位換算の理解が十分でない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題を読み、作図をしたり、説明したりする記述問題の正答率は目標値を上回っているが、一方で無回答の児童も一定数見られる。</li> </ul>

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小数や分数の大小の読み取りや計算の理解が十分ではない。</li> <li>・ 角の大きさや面積を求める問題など、図形の理解が十分でない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2つの数量の関係を、もとの大きさの何倍になったかと捉えることができていない。</li> <li>・ 比例や単位量当たりの大きさについては、比例関係がどういうことかの理解はできているが、そこから割合を求めるというものの理解が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記述式の中でも、作図の問題に関しては目標値に近いが、説明を書くような問題になると無回答も多く、課題解決が難しいと感じていると考えられる。</li> </ul>

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ たし算ひき算かけ算の基礎計算力を維持するために、授業の導入や東っ子タイム、補習の時間に反復練習させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習の随所に具体物を実際に操作しながら思考する機会を多く設ける。</li> <li>・ タブレットを活用して、具体物、図や絵などの教材教具を工夫し、児童が計算の意味を考えることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタル教科書やタブレット等を活用して、視覚情報を多く見せ、導入時に児童が興味を高め、主体的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四則計算や単位換算を定期的に練習する時間を設けて反復練習させる。</li> <li>・ 復習の時間を設けて、意味を児童に説明させながら確認する場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章題に触れる機会を増やし慣れさせる。その際に文章中の大事な言葉に線を引かせるなど、読み取り方も指導する。</li> <li>・ テープ図や線分図など、図を使って表す練習をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少人数学習や補習の時間などの指導を工夫し、個別最適化を図ることで、個人の苦手意識を減らしていく。</li> </ul>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補習、東っ子タイムの時間を活用し、学習したことを反復させることに</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数直線に触れる場面を増やし、主体的に数直線を用いようとする態度を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童が簡単と感じられる記述式の問題を解く場を多く設け、どのように</li> </ul>

<p>よって理解の深まりと定着を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>•</li></ul>	<p>養っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 比例関係がどういうことかを友達同士で説明し合い、割合の求め方についても意見交流をする場面を設ける。</li></ul>	<p>記述式問題を解けばよいのかの理解を深め、苦手意識を減らし自信を付けさせていく。</p>
--	---	--